



## ことば遊び ～ジャンケンあそびをしよう！～

ジャンケンには、「グー」「パー」「チョキ」と指を伸ばしたり曲げたり、考えながら手指を動かします。このように、手指がスムーズに動かされるようになると、脳が活性化し、それに伴って、口腔機能が高まることもあると言われています。今回はジャンケン遊びです。初めはゆっくりと、慣れてきたらいろいろなジャンケン遊びを、ご家族皆さんで楽しんでください！（参考：脳の中のこびと）

### ☆ 手でジャンケンあそび！

- ① 利き手でジャンケンしよう！
  - ◇ 指を曲げたり伸ばしたりは、素早く動かそう。

②③は、慣れてきたらスピードを上げて遊びましょう。

- ② 両手でジャンケンしよう！（両手は、同じ手を出そう）
  - ◇ 負けたら、勝った方の手だけで、再び勝負しよう。
  - ◇ 両方の手が負けたらおしまい！



- ③ 利き手と反対の手でジャンケンしよう！
  - ◇ 相手とタイミングを合わせて、遅れないように出そう。
  - ◇ タイミングが合わない時は、ジャンケンをする前に、何を出すか考えて、すぐにだせるようにしよう。

- ④ ひとりで、両手でジャンケンしよう！（両手は、違う手を出そう）
  - ◇ 勝った手で、○や□を描いてみよう。
  - ◇ いつも右手が勝つジャンケンをしよう。
  - ◇ いつも左手が勝つジャンケンをしよう。



## 食べることと話すこと ～スプーンで食べる～

スプーンを使って食べる時、口がきちんと閉じられていることが大切です。スプーンを口に入れたら、口をピタリ閉じてスプーンを挟み、口唇の周りに力を入れて、スプーンの窪みに食物を残さずピカピカにしなが、スプーンを水平に引き抜きます。しかし、スプーンを引き抜く時に、口を閉じずに前歯でこそげ取っていると、口を閉じる力が付きません。また、離乳食を食べさせる時もそうですが、スプーンを引き抜く時に、スプーンを斜め上に引き上げて前歯でこそげ取るようにしてしまうと、子どもが自分で口を閉じようとしなくなります。口を閉じる力が付くことで、飲み込む力が付いたり、舌の動きがよくなったりします。また、普段口をボカンと開けて呼吸する子どもは、口を閉じる力が不足しています。お子さんの食べ方をチェックして、食べながら口回りの筋肉を鍛えましょう！



## 靴を揃えましょう！

「けじめとルールを伝える第1歩」

一度しゃがんで靴を揃えるのは、けじめをつけ、それぞれ物事にはルールがあることを認識する動作です。



例えば、園で靴を揃えると、園のルールを、「さあ、今から守るぞ！」と認識できるのです。

**友だちの家には友だちの家のルール、  
自分の家には自分の家のルールがあり、  
社会には社会のルールがある。**

靴を揃えることで、けじめが付き、ルールを守ろうという意識が向けられます。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。  
夢と希望のもてる たからっこを  
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター  
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1  
電話 0797-71-1141(市役所)  
0797-77-2132(直通)  
FAX 0797-71-1891  
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。